

令和5年（2023年）年2月23日（木 祝日） 南郷山、幕山ハイキング&湯河原梅林観梅

クマさん会では10年ぶりの湯河原梅林での観梅となります。路傍で販売している地元の柑橘類が購入できるのも、このハイクの楽しみです。なお、このプランに並行して「幕山楽ちんハイク」も計画されて、幕山山頂で合流することになりました。

（南郷山、幕山ハイキングコース）



参加者は、堀さん、高橋文さん、高橋雄さん、根岸さん、吉松の5人です。幕山楽ちんハイク組は、熊本さん、能勢さん、池戸さん、石井さんの4名で、幕山山頂で9名全員が集合することになりました。

レポート；吉松

ハイキングコース参加者は8時55分に湯河原駅出口で待ち合わせ、タクシー2台に分乗して南郷山登山口（五郎神社）へ移動

靴紐を締めなおして集合写真を撮るはずだったのだが・・・

気の早い堀さんはさっさと歩きだしてしまい、先の方で民家に咲いている花などを愛でていた。



遅れた我々も追いついて、見事な花に足が止まった。



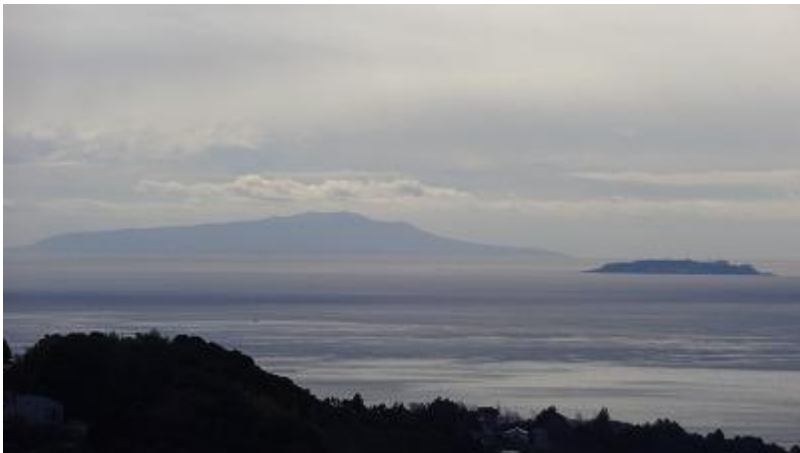


勾配のある舗装道を暫く登ることになった。
道の両側にはミカン畑が続いていたが、大分摘み取った後のようだ。

2月も半ばを過ぎて春めいてきて、民家の庭先が賑やかになっている。



10分ほど登ると、急に視界が開けて湯河原沖の海が広がった。
霞んではいるが、先の方まで島のシルエットが望める。



右は初島

その先は、1週間後にクマさん会有志が訪ねる予定の伊豆大島

9時半を回った辺りから、道が湯河原ゴルフ場のコース脇になった。



芝生はすっかり枯れているが、素晴らしいコースのようだ。





9時45分

ゴルフ場コース脇にある球よけネットの下で休憩

春の日差しで身体が熱くなってきた。



9時50分

ゴルフ場から離れて、左右を竹藪に覆われた登山道に入った。舗装道を外れて少し山道らしくなる。



10時20分

南郷山まで900m、幕山まで1800mの標識がある場所に出た。



このコースを登ってくるハイカーに会うのはまれだ。数えるほどの人にしか会わなかった。

我々はこちらで2度目の小休止

根岸さん持参のブランディケーキを頂き、エネルギーを補給



10時30分

南郷山に向けて出発



20分ほど登ると頭上が開けてきて山頂が目の前になってきた。

10時50分 南郷山（613m）到着



山頂の広場で10分ほどのんびりした後、源頼朝伝説が残るという「**自鑑水**」に向かう予定だったのだが・・・



「自鑑水」に向かって南郷山山頂から下り始めた。



ほとんど直滑降のような下り道を、細心の注意をしながら下った。
ひとたび滑ったら、間違いなくそのまま坂の下まできろげ落ちそうな道だった。



10分位で坂の下に到着した。白銀林道だ。

はて、「自鑑水」への道はどうなっているんだろうと思ったら・・・

雄さんがぼつりと・・・

「南郷山を降り始めてすぐの所に「自鑑水」への標識があった」
とのこと。

先頭を歩いていた吉松が、「自鑑水」への道を見落といしてしまったらしい。残念無念！！

白銀林道途中からも「自鑑水」へ向かう道もあったのだが、多少登り返さなければならない。幕山山頂で合流する予定の「幕山楽ちんハイク」組の4人が、はやくも到着して待っている可能性があった。

「自鑑水」は諦めることにした。

そうと決まったら急ごうと、幕山山頂を目指して歩を速めた。



11時40分過ぎに幕山山頂（625m）に到着



案の定、幕山楽ちんハイク組4人はシートを広げ、酒を一杯やりながら、我々を待っていた。

*やけに酒の匂いが漂う。さては派手に飲んでいたかと思ったのだが、違った。ペットボトルに入れた熊本さん持参の酒が、蓋が割れてザックの中に溢れ出ていたらしい。ああ、もったいない！！

ひとまず、南郷山・幕山ハイキング組の集合写真を撮った。



続けて、
幕山楽ちんハイク組と一緒に集合写真

9人そろい組になったところで、湯河原梅林に向けて下ることにした。今度は、梅林の中で昼食だ。



下山途中の東屋で小休止

朝が早くて腹をすかせた堀さんが、早くも昼食開始宣言をしたが、すかさず却下！

やはり梅林の中で食べることに決定！！

再び下り始めると、梅林の中に入ってきた。
かすかに梅の良い香りがしてきた。



手ごろな場所を見つけて、梅を愛でながらの昼食（12時40分）

ワイン、日本酒で乾杯！ 石井さん持参の濃厚な焼酎まで出てきた。なんとアルコール度数35度。
幕山楽ちん組は、幕山山頂に続けての酒宴となった。





池戸さんは、顔が真っ赤！

股を広げちまって、すっかりご機嫌に出来上がってしまった。

すぐそばの岩場では、こんな我々を下界に見ながら、ロッククライマーたちが真剣に訓練をしていた。



クライマーたちが黙々とトレーニング

40分ほどのんびりと昼食を楽しんだ。



酒でふらつく重い腰を上げて、観梅に向かうことにした。

満開には大分はやい。まだ、2～3分咲きくらいか？





梅の花と香りを心ゆくまで楽しんで、皆で出口に向かう。

*なお、写真の石井さんは酒で与太っているのではなく、カメラが向くと条件反射的に何かポーズをとってしまうらしい。



13時50分

出口でタクシー3台が来るのを待つ間、地元の柑橘類を購入

タクシー3台に分乗して「ゆとろ嵯峨沢の湯」へ移動



ゆとり嵯峨沢の湯

汗を流して休憩所でゆっくりすることにした。

持ち込みも OK の休憩所なので、湯上りの缶ビールを飲み、持参の酒も飲むことになった。

結局、2時間近くものんびりとしていたことになった。



16時、ゆとり嵯峨沢の湯を後にして、JR 湯河原駅に向かった。以下は湯河原駅前での集合写真2枚



雄さんを除く8人は、16時27分 JR 湯河原駅発の東海道線に乗り込んで帰路に就いた。

雄さんは踊り子号で帰った。



今回は、「南郷山、幕山ハイキング&湯河原梅林観梅」組と「幕山楽ちんハイク」組とが一緒になって、総勢9名の大パーティとなりました。

観梅ということでいつもよりは持参したお酒の量が増えました。そんなこともあってか、一寸したハプニングもありました。

【ハプニングその1】

熊本さんが、折角持参したお酒をザックの中にこぼしてしまいました。
プラボトルの蓋が割れるというハプニングの所為でした。
クマさん会のハイキングでは初めてでしょうか？ む～～、残念！

【ハプニングその2】

物を失うことでは武勇伝の絶えない堀さんが、風呂のなかで気を失うというハプニングがありました。
ご本人によると、飲んでいる薬の種類が変わったばかりだったことが原因ではないか？とか。
幸い大事には至りませんでした。近くにいた人はいささかびっくりしました。

【ハプニングその3】

文さんが、降車駅である町田駅に近づいても、まったく降りる素振りがありませんでした。
同行していた能勢さんと吉松が声を掛けても全く無反応。目を覚ます気配さえありませんでした。
2人で声を掛け続けて、やっと反応してくれました。
昨晚ほとんど睡眠がとれなかったとのことでしたが、能勢さん、吉松は大慌てでした。

クマさん会発足以来、登山行も四半世紀を過ぎました。

ハプニング出来も数限りなくありました。今回も色んなことがありましたが、まずは元気に楽しくハイキングが出来て良かったです。